

コード	203010201
記入日	H26.5.30

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	岩本 靖志

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	新上五島町ふれあい公園整備事業
----------	-----------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 26 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	8
施策コード	203	施策名称	こころを癒す公園・広場・緑地の整備	項コード	2
基本事業コード	20301	基本事業名称	身近な公園整備	目コード	3
事務事業コード	2030102	事務事業名称	単独事業費（道路）	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法、道路構造令		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 町民	(対象指標1) 21,809人 (H25.4.1現在)					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・公園整備 3.71ha ・全体事業費 C=32,000千円	(平成25年度) ・公園整備 0 (1.34) ha ・事業工 V=54.05m3 ・排水工 L=162.0m ・測量設計 1.0業務	整備面積	2.37ha	63.9%	整備面積÷ 計画面積	平成26年度
		整備面積	0 (1.34) ha	100%		平成25年度
		① (達成率分析)	平成26年度へ繰り越したため、完成することができなかった。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
・本公園は、国道384号の改良事業に伴う残地の有効利用を図り、国立公園の開発行為となるため、公園として整備し環境の整備及び地域の活性化を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		環境及び景観の向上	-	-	-	平成26年度以降
		① (達成率分析)	公園として整備することで、環境及び景観の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① ha	3.71	2.37	2.37	0 (1.34)	0 (1.34)	1.34			
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	43,719	25,209	23,629	10,471	1,580	9,619			
直接事業費 A	千円	40,919	23,109	22,229	9,771	880	8,919			
人件費 B	千円	2,800	2,100	1,400	700	700	700			
内 従事職員数	人	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1			
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円									
の 県補助金	千円	5,000	5,000	5,000						
財 起債	千円	27,700	9,600	9,600	9,200		8,900			
源 内 その他	千円									
内 一般財源	千円	11,019	10,609	9,029	1,271	1,580	719			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	国立公園区域内の開発行為であるため、管理者である町が行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	国道改良事業の残地を公園として有効活用することで、環境及び景観の向上が図られ地域活性化の上で本事業のもたらす成果は大きい。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	国道改良事業の残地の有効活用であるため、特別向上させる必要はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっている。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	平成26年度が事業の最終年度にあたり、事業の最大の効果が発揮できるよう取り組んでいく。

2次評価	国立公園区域内の開発行為であることから、公園として整備し環境及び景観の向上を図るうえで必要な事業である。
------	------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。